

SDGs for MICEの取組



SDGs for MICE 評価制度

持続可能で社会に貢献するイベントの開催をサポートすることを目的に、大阪観光局が策定。
本大会では、この制度の申請に伴い、よりよい環境づくりをめざす様々な取組を実践した。

SDGsへの取組 ①

水道いらすのスタンドWOSH の導入

使用した水の98%以上をその場で循環して再利用して使用できる、人にも地球にも優しい循環型手洗いスタンドを会場内7か所に設置。来場者の方々がブースを楽しみながら気軽に手洗いができる環境を提供することで、衛生管理を促進した。

手洗いスタンド設置位置（ホール内4か所、キッチンカー付近1か所）



SDGsへの取組 ②

おしゃれなバッグ型コンポスト AgriPoucher® の導入

「地球ラボ」が開発したバッグ型のコンポストAgriPoucher®を導入しクリーンステーションとして会場内5か所に設置。来場者にも捨てるから育てる循環を、一緒に体験してもらう、ゴミ捨てが楽しくなる、そんなプロジェクトとして取り組んだ。運営は管理栄養士養成施設の学生が手掛け、学生にとっての体験学習になるとともに、使用後は学校でのコンポスト活用を継続いただくことも予定している。

クリーンステーション設置場所（ホール内3か所、キッチンカー付近1か所、6階出展者控室1か所）



SDGsへの取組 ③

座れる場所を多数設置し、誰もが過ごしやすい環境に

イベントステージ前にも、体験ブース近くにも、キッチンカーペースにも、来場者の皆様が座ってくつろいでいただけるよう、会場の各所に椅子を用意。老若男女問わず、1日中、ご自身のペースで楽しめる場になるよう心掛けた。



SDGsへの取組 ④

学生ボランティアの参画による地域活性化を促進

大阪府下の大学9校から、1日目は66名、2日目は52名、合計118名の学生ボランティアの方々が積極的に参加・協力。学生のみなさんが食育活動に興味をもっていただける良い機会を醸成し、出展者の方々、また来場された地域の方々とのつながりを生むことにも貢献した。



【学生ボランティアの大学名・参加人数・担当内容】

参加日	大学名	参加人数	担当内容
6月1日	摂南大学	3	ポスターコンクール参加者受付・スタンブラリーゴール受付・抽選会運営・景品補充業務
	梅花女子大学	7	
	大手前大学	12	ホール内各所SDGsクリーンステーション5カ所（地下2階ATCホール内：3カ所、6階コンベンションルーム2：1カ所、屋外キッチンカーコーナー：1カ所、1階関係者受付集合、受付、6階B4会議室Tシャツ着替え、ATCホール内A・Cホール付近にてレクチャー）
	関西福祉科学大学	35	
	相愛大学	3	Vリーグイベント準備
	帝塚山学院大学	6	
6月2日	大阪公立大学	14	クリーンプロジェクトE、D、6階 景品配布
	千里金蘭大学	4	クリーンプロジェクトC
	羽衣国際大学	34	クリーンプロジェクトA、B、C、D、D29E、6階コンベンションルーム2（出展者休憩所）、6階景品配布、バレーボール

SDGsへの取組 ⑤

公共交通機関での搬入呼びかけで、駐車場の満車を軽減

出展者説明会で出展者の皆様に、できる限り公共交通機関での来場を依頼。通常のイベント時と比較して、当日の2日間は駐車場の車両数が軽減されたとATCホールのご担当者様からご報告いただいた。

【通常と比較した今イベントの駐車削減数】

1日目：[第1駐車場]入場117台、出場118台 [第2駐車場]入場303台、出場308台
2日目：[第1駐車場]入場136台、出場130台 [第2駐車場]入場158台、出場152台

車両数比較	第1日目		第2日目	
	第1駐車場	第2駐車場	第1駐車場	第2駐車場
【今回】 食育推進全国大会	入場：714	入場：596	入場：743	入場：672
	出場：714	出場：592	出場：750	出場：678
【通常】 子ども向けイベント	入場：831	入場：899	入場：879	入場：830
	出場：832	出場：900	出場：880	出場：830

SDGsへの取組 ⑥

ATC内 ITM棟エコプラザ「ECOヒロフェスタ」とジョイント開催

IMP棟エコプラザで開催した「ECOヒロフェスタ」。ECO活動を推進するジョイントイベントとして、本大会のフライヤーにも掲載し、環境に対する意識の高い人々の動員につなげた。

【開催概要】

日程：2024年6月1日(土)・2日(日) 11:00-16:00

場所：大阪南港ATC ITM棟2F セントラルアトリウム

事前申込・入場料：不要

共催：関西SDGsプラットフォーム教育分科会、SDGsナレッジラボ、特定非営利活動法人DeepPeople

協力：エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社、アジア太平洋トレードセンター株式会社、
明治安田生命保険相互会社、株式会社高速オフセット、日世株式会社びわ湖工場、ネスレ日本株式会社

来場：シールラリー参加者6/1：63名程度 6/2：80名程度、
各ブース訪問者15名～155名、ブース訪問者延べ数6/1：697名 6/2：916名

広報：近隣の子ども食堂にチラシ配布、各種イベント情報サイトへ掲載、
ATCよりメルマガ配信、食育推進全国大会のチラシに掲載



補足

ATCホールは環境への配慮にも力を入れている施設です。



ATCホールでは、カーボンオフセット・廃棄物、二酸化炭素の削減・地熱・防災訓練・清掃活動に取り組んでおります。国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえた地球温暖化問題を解決すべく、地域の発展に寄与するため、従業員一丸となって様々な改善活動を継続しています。

【取組事例】

海水を利用したエネルギー効率の向上

ATCビルの地下から汲み取った海水は南港熱供給センターで処理。近隣のホテル、オフィスビル、ATCビルの熱源水・冷却水に活用。

電気自動車向けEV用充電器を設置

第1駐車場には、電気自動車向けEV用充電器を多数設置し、クリーンエネルギーカーの普及促進に寄与。

ATCホールで廃棄物の分別推進

飲食系やファッション系展示会等において廃棄物の分別を推進。
主催者の協力を得て、ダンボール、ビン、缶等を分別しリサイクルにまわすことで産業廃棄物の減量化を実現。 など

今回の食育推進全国大会のエネルギー消費量

ゴミ	産廃（パッカー車）2,210kg 一般 220kg ダンボール 295kg
電力	電気 5,975kwh 空調 7,057kwh
水道	115.37㎡